

(別表3-3)平成14年度から平成29年度における経年分析結果(水質)

物質調査番号	調査対象物質	水質				
		河川域	湖沼域	河口域	海域	
[1]	総 PCB				-	
[2]	HCB		-		└	
[7]	クロルデン類					
	[7-1] cis-クロルデン			-		
	[7-2] trans-クロルデン	-	-	-	-	
	[7-3] オキシクロルデン	X	└	X	-	X
	[7-4] cis-ノナクロル	-	-	-	-	-
	[7-5] trans-ノナクロル	-		-	-	-
[8]	ヘプタクロル類					
	[8-1] ヘプタクロル	X	X	X	X	↘
	[8-2] cis-ヘプタクロルエポキシド			-	-	-
	[8-3] trans-ヘプタクロルエポキシド	X	X	X	X	X
[11]	HCH 類					
	[11-1] -HCH		-	-	-	-
	[11-2] -HCH		-		-	
	[11-3] -HCH(別名:リンデン)					
	[11-4] -HCH	- *	-	-	- *	X
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類					
	[14-1]テトラブロモジフェニルエーテル類	X	X	X	-	X
	[14-2]ペンタブロモジフェニルエーテル類	↘	↘	X	-	X
	[14-3]ヘキサブロモジフェニルエーテル類	X	X	X	X	X
	[14-4]ヘプタブロモジフェニルエーテル類	X	X	X	X	X
	[14-5]オクタブロモジフェニルエーテル類	X	X	X	-	X
	[14-6]ノナブロモジフェニルエーテル類	- *	- *	X	-	X
	[14-7]デカブロモジフェニルエーテル類	- *	- *	X	-	X
[17]	ペンタクロロベンゼン	-	-	-	-	-

(注1)経年分析は、単回帰分析等の統計的手法を用いて実施した(以下の表においても同様)。

(注2)表中で用いた記号はそれぞれ次の内容を意味する(以下の表においても同様)。

- ： 経年的な減少傾向が統計的に有意と判定されたもの
- └： 調査期間の後期で得られた結果が前期と比べ低値であることが示唆されたもの
- ： 経年的な増加・減少傾向及び調査期間前期と後期との差について確認されないもの
- ↘： 調査期間における低濃度地点数の増加傾向が統計的に有意と判定され、濃度の減少傾向が示唆されたもの
- X： 「不検出値(nd)が半数を超えて存在する年度がある」又は「測定地点数が少ない」ために本分析法により経年分析を行うことが妥当ではないと判断されたもの
- *： ブートストラップ法において調査期間前期と後期との差が確認されないもの

(注3)ポリブロモジフェニルエーテル類は平成21年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは平成22年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(別表3-4) 平成 14 年度から平成 29 年度における経年分析結果(底質)

物質 調査 番号	調査対象物質	底質				
		河川域	湖沼域	河口域	海域	
[1]	総 PCB			-	-	
[2]	HCB			-	-	-
[7]	クロルデン類					
	[7-1] <i>cis</i> -クロルデン			-		
	[7-2] <i>trans</i> -クロルデン			-		
	[7-3] オキシクロルデン	└	-	X	- *	X
	[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル			-		
	[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル			-		
[8]	ヘプタクロル類					
	[8-1] ヘプタクロル	↘	↘	X	└	X
	[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	└	└	- *	-	X
	[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	X	X	X	X	X
[11]	HCH 類					
	[11-1] -HCH			-	-	-
	[11-2] -HCH	-	-	-		-
	[11-3] -HCH(別名:リンデン)			-	-	
	[11-4] -HCH		-	-		
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類					
	[14-1]テトラブロモジフェニルエーテル類	└	↘	-	- *	-
	[14-2]ペンタブロモジフェニルエーテル類	-	X	-	-	-
	[14-3]ヘキサブロモジフェニルエーテル類	└	X	-	-	-
	[14-4]ヘプタブロモジフェニルエーテル類	- *	X	- *	-	-
	[14-5]オクタブロモジフェニルエーテル類	└	X	-	-	-
	[14-6]ノナブロモジフェニルエーテル類	-	└	-	-	-
	[14-7]デカブロモジフェニルエーテル類	-	-	-	-	-
[17]	ペンタクロロベンゼン	-	-	-	-	-

(注) ポリブロモジフェニルエーテル類は平成 21 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは平成 22 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(別表3-5)平成14年度から平成29年度における経年分析結果(生物及び大気)

物質調査番号	調査対象物質	生物		大気
		貝類	魚類	温暖期
[1]	総 PCB		-	
[2]	HCB	-	-	-
[11]	HCH 類			
	[11-1] -HCH		-	-
	[11-2] -HCH	-	-	
	[11-3] -HCH(別名:リンデン)		└	
	[11-4] -HCH	X	└	-
[14]	ポリプロモジフェニルエーテル類			
	[14-1]テトラプロモジフェニルエーテル類		-	
	[14-2]ペンタプロモジフェニルエーテル類	-	-	X
	[14-3]ヘキサプロモジフェニルエーテル類	X	-	X
	[14-4]ヘプタプロモジフェニルエーテル類	X	X	X
	[14-5]オクタプロモジフェニルエーテル類	X	X	X
	[14-6]ノナプロモジフェニルエーテル類	X	X	X
	[14-7]デカプロモジフェニルエーテル類	X	X	X
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	X	-	
[16]	ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	X	X	-
[17]	ペンタクロロベンゼン	X	- *	-

(注1)鳥類の平成25年度以降における結果は、調査地点及び調査対象生物を変更したことから、平成24年度までの結果と継続性がないため統計的な分析の対象外とした。

(注2)生物のうち、ポリプロモジフェニルエーテル類は平成20年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)は平成21年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは平成22年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(注3)大気のうち、HCH類及びポリプロモジフェニルエーテル類は平成21年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ペルフルオロオクタン酸(PFOA)及びは平成22年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは平成19年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。